

授業科目名	韓国語コミュニケーション	単位数	2
担当教員名	中道 真記子	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
<p>「学位授与の方針」との関係 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>(1) 「韓国語の習得」だけではなく、韓国語を通じた「異文化コミュニケーションの習得」をすることができる。</p> <p>(2) 韓国語という言語だけではなく韓国の歴史や文化を知ることを通じて、結果的に日本についても理解を深めることができる。</p> <p>(3) (2)を踏まえ、日本と他国を比較しながら自身なりの「異文化理解」について説明することができる。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>本講義は2つの軸で進める。1つ目の軸は、「韓国の文化や風習」。近年、映画や音楽、テレビドラマ、旅行などを通じて韓国に触れる機会が急増した。韓国は「隣の国」と呼ばれ日本にとって最も身近な国として捉えられているが、韓国と日本の相違点は存在しないのだろうか？もし相違点があるとすれば、それはいったい何だろうか？日本人から見た、日常的に直面している韓国文化との相違点について、またその違いが生じる原因や背景について考える。2つ目の軸は、「韓国語の学習」。ハングル文字の読み書きや基礎的な文法、表現について学ぶ。韓国語の学習が、履修生にとって多言語を学ぶ面白さを知るきっかけになれば幸いである。</p> <p>本講義は、韓国に興味がある学生全般に履修を勧める。韓国語学習初心者も大歓迎である。検定試験の受験経験も問わない。また異文化理解、異文化共生について興味のあるかたにも本講義の受講を勧める。</p> <p>なお、本講義は日本人の視点から考えるスタンスをとる。外国の語学だけではなく歴史や文化を知ることが結果的に日本についても理解を深め、異文化コミュニケーションに大変役立つはずである。それこそが、本講義の最大の目的である。</p> <p>< 韓国を知るためのキーワード 2023年度版 > 以下のキーワードを意識して韓国を深く見つめると、新しい側面が見えてくるでしょう。是非参考にしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化 ・ 経済格差の深刻化 ・ 一般的な富裕層とは異なる、韓国における財閥の役割 			
<p>授業計画</p> <p>第1回：韓国人のコミュニケーション・スタイル (1) 「Ⅰ おいしく召し上がってください」</p> <p>第2回：韓国人のコミュニケーション・スタイル (2) 「Ⅱ どうしてボーイフレンドがいないんですか」</p> <p>第3回：韓国人のコミュニケーション・スタイル (3) 「Ⅲ 泣く子に乳をやる」</p>			

第4回：韓国人のコミュニケーション・スタイル（4）「IV 社長様はいらっしゃいません」
第5回：韓国人のコミュニケーション・スタイル（5）「V お膳の足が折れるまで」
第6回：韓国人のコミュニケーション・スタイル（6）「VI 母はもっと若く見えるんですよ」
第7回：韓国人のコミュニケーション・スタイル（7）「VII 『君』と<군クン>」
第8回：韓国語初級：ハングルの仕組みと発音と挨拶
第9回：韓国語初級：自己紹介と基本的な会話
第10回：韓国語初級：存在を表す自動詞있/없다
第11回：韓国語初級：하다活用
第12回：韓国語初級：丁寧な用言
第13回：韓国語初級：敬語
第14回：韓国語初級：用言の否定
第15回：韓国語初級：助詞
定期試験

学修内容

テキスト『箸とチョッカラクーことばと文化の日韓比較』で主に韓国人のコミュニケーションのスタイルについて触れ（主に授業計画の第1回から第7回の内容を含む）、また、テキスト『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』を通じてハングル文字の仕組みや発音のほか、自己紹介、挨拶そして韓国文化を象徴する独特な単語についても具体的に学習する（主に授業計画の第8回から第15回の内容を含む）。各回に該当する具体的なページ数については、学習指導書を参照のこと。

教科書

- (1) 木内 明『基礎から学ぶ韓国語講座 初級 改訂版』国書刊行会 2013年
- (2) 任 栄哲・井出 里咲子『箸とチョッカラクーことばと文化の日韓比較』大修館書店 2004年
- (3) 松尾慎・山田泉 他『多文化共生 人が変わる、社会を変える』凡人社 2008年
- (4) 佐藤 望・湯川 武・横山 千晶・近藤 明彦『アカデミック・スキルズ(第3版)―大学生のための知的技法入門』慶應義塾大学出版会 2020年

参考文献

- (1) 金 裕鴻(2002)『韓国がわかる。ハングルは楽しい!』PHP研究所
- (2) 斉藤 明美(2005)『ことばと文化の日韓比較―相互理解をめざして』世界思想社
- (3) 李 修京(2005)『この一冊でわかる韓国語と韓国文化』明石書店
- (4) 小倉 紀蔵・小針 進(2007)『韓流ハンドブック』新書館
- (5) 木村幹(2008)『韓国現代史 大統領たちの栄光と蹉跎』中央公論新社版会
- (6) 尹亭仁(2009)『デイリーコンサイス韓日・日韓辞典』三省堂
- (7) 「外国につながる子どもたちの物語」編集委員会(2009)
『まんが クラスメイトは外国人-多文化共生20の物語-』明石書店
- (8) 朴 裕河(2011)『和解のために』平凡社
- (9) 春木 育美・薛 東勲(2011)『韓国の少子高齢化と格差社会: 日韓比較の視座から』慶應義塾大学出版会
- (10) 伊藤 公雄ほか(2011)『現代韓国の家族政策』行路社
- (11) 小倉 紀蔵(2012)『心で知る、韓国』岩波現代文庫

- (12) 「外国につながる子どもたちの物語」編集委員会(2013)『まんが クラスメイトは外国人入門編 -はじめて学ぶ多文化共生-』明石書店
- (13) 田中 宏(2013)『在日外国人 第三版——法の壁,心の溝』岩波書店
- (14) 金 順玉(2014)『最新チャレンジ!韓国語』白水社
- (15) 斎藤真理子ほか、(2019)『文藝 2019年秋季号』河出書房新社、特集「韓国・フェミニズム・日本」
- (16) 「外国につながる子どもたちの物語」編集委員会(2020)『まんが クラスメイトは外国人課題編 -私たちが向き合う多文化共生の現実-』明石書店
- (17) 丁 海玉(2020)『法廷通訳人』KADOKAWA
- (18) 春木育美(2020)『韓国社会の現在-超少子化、貧困・孤立化、デジタル化』中央公論新社
- (19) イ・ミンギョン(2021)『失われた賃金を求めて』タバックス
- (20) 森平 雅彦ほか(2022)『日韓の交流と共生:多様性の過去・現在・未来』九州大学出版会
- (21) 洪里奈(2022)『「ルーツのある」子どもたち 民族学級という場所で』クレイン
- (22)伊東順子(2022)『韓国カルチャー 隣人の素顔と現在』集英社
- (23) 木村幹(2022)『韓国愛憎-激変する隣国と私の30年』中央公論新社
- (24) 木村幹(2022)『誤解しないための日韓関係講義』PHP 研究所
- (25) 春木 育美・吉田 美智子(2022)『移民大国化する韓国——労働・家族・ジェンダーの視点から』明石書店
- (26) 鄭炳浩(2022)『人類学者がのぞいた北朝鮮:苦難と微笑の国』青土社
- (27) 荒牧重人ほか(2022)『外国人の子ども白書【第2版】——権利・貧困・教育・文化・国籍と共生の視点から』明石書店

学生に対する評価

レポート評価(50%)、科目修得試験(50%)を総合して評価する。